

エイズ孤児支援NGO・PLAS

事業・決算報告書

2012年度

2012年4月1日－2013年3月10日



Our Mission

HIV/エイズによって影響を受ける子どもたちが笑顔でいられる社会を実現する。

Our Value

私たちが大切にすること

1. 地域で子ども達が育つことを大切にします
 2. 地域と共に活動し、住民の自立を優先します
 3. 前向きにチャレンジし、成長しつづけます
 4. 人とのつながりを大切にし、お互いを尊重します
-

Contents

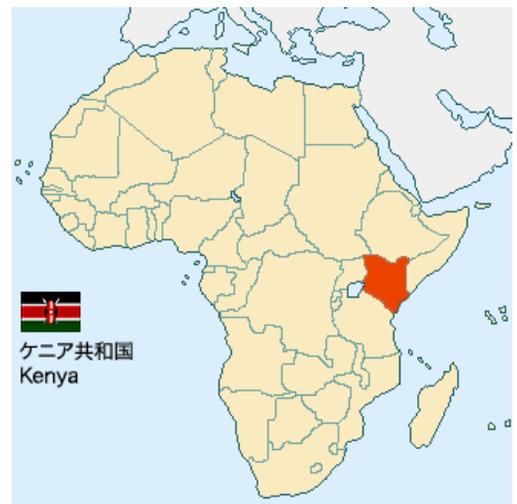
1. Our Mission, Our Value
2. 海外事業 ケニア
3. 海外事業 ウガンダ
4. 国内事業 世界エイズ孤児デーキャンペーン
5. 国内事業 世界エイズデーキャンペーン、助成金実績、主なメディア掲載
6. 会計

KENYA

ニャンザ州ウゲニャ県

地域概要

この地域はケニア共和国で最もHIV感染率が高いニャンザ州に位置しており、HIV感染率がケニア共和国全体で約8.3%であるのに対し、この地域のHIV感染率は2002年の時点で38.4%です。住民の多くが農業に従事しており、住民の約6割が絶対的貧困層とされています。



HIV / AIDS

エイズ啓発・母子感染予防事業

この地域では、妊産婦やその家族が病院へ行くことを拒んだり、HIV検査を受けること自体が差別の対象となったりするなど、社会的な側面から、母子感染予防プログラムを受けることができない女性が多く存在します。

また、およそ2人に1人の妊産婦が、病院に来て初めて母子感染について知るという現状があり、母子感染が起こること、また予防するものであることを知らない人が多いことも指摘されています。妊産婦やその家族が、母子感染予防について事前に知り、病院へ行くことの重要性を感じる必要があります。



ボランティアで啓発活動をつづける啓発リーダーらを称えるべく2012年12月には表彰式を行いました。一人一人に表彰状を手渡しました。

母子感染予防の知識を 地域住民2万人以上に提供

2009年1月より、地域のリーダーに対して、母子感染予防についての研修を行い、彼らの地域での啓発活動を支援しています。これまで69名の啓発リーダーを育成してきました。

研修を受けた後、啓発リーダーたちはモビライザーと呼ばれ、地域ごとにグループを作り、月に4回程度の母子感染予防啓発事業活動を行っています。事業開始から約4年で、地域住民20,046人にエイズ啓発を実施しました。

母子感染を防ぐ重要性

現在世界では、210万人の15歳以下の子どもがHIVとともに生きています。

そのほとんどが、母親からの感染です。

そして、母子感染した子どものおよそ50%は2歳になる前に亡くなってしまいます。

しかし、母子感染は、適切な処置とケアを行うことで、その感染率を3%以下に抑えることができます。現在、その適切な処置とケアを受けられるのは、HIVに感染している妊産婦の10%以下なのです。



UGANDA

ジンジャ県

地域概要

ウガンダ共和国ジンジャ県。豊富な水資源に恵まれた肥沃な土地を利用した農業で生計を立てている家庭が多いのが特徴です。経済的理由などから学校に通うことができないエイズ孤児が多くおり、特に中退が問題となっています。ジンジャ県の初等教育の中退率は77.8%にのぼります。



Agriculture

養鶏事業の開始

約13年前、エイズ孤児を支援しようと、地域のHIV陽性者たちが団体を立ち上げ、養鶏を開始しました。その収益により、これまで64名のエイズ孤児を学校に通わせることができました。けれども支援を待つエイズ孤児は増えるばかり...

団体所有の鶏舎がなく、団体事務所の一角の小さなスペースで鶏を飼育していたり、高い賃料を払って鶏舎を借りざるをえなかったり...。懸命に活動しても、エイズ孤児に届ける支援が滞ってしまうこともありました。プラスは現地パートナー団体と共にこの養鶏プロジェクトを立て直し、拡大することにより、共にエイズ孤児支援を行っていきます！



支援前は事務所の一角に無理やり養鶏スペースを作り、鶏を飼っていました。鶏が病気になることも...

第一ステップとなる 鶏舎の建設を着工

この養鶏事業を拡大していくために、第一ステップとなる鶏舎の建設を開始しました。2013年には、鶏舎が完成する予定です。建設のための土地を現地パートナー団体が用意し、プラスは建設の支援を行いました。また、養鶏事業をスムーズに行うための会計研修を行いました。

養鶏事業の今後

鶏舎が完成したら、養鶏研修を実施する予定です。これまで養鶏を行ってきたメンバーですが、その知識は十分とは言えないのが現状です。養鶏の基礎から改めて学び、適切に鶏の世話をすることができるよう研修を行います。

研修後にはいよいよヒナを仕入れ、養鶏事業がスタートします。



支援開始前、地域住民組織のメンバーらと何度も話し合いを重ねました。プラスと地域住民組織の話し合いの風景。

世界エイズ孤児デーキャンペーン2012

5月7日の世界エイズ孤児デーに合わせて
エイズ孤児を知ってもらい、支援につなげるための
啓発キャンペーン

キャンペーン概要

本年が6年目となった世界エイズ孤児デー
キャンペーンは、「こどもたちのえがおに、未来を。」
がキャッチコピー。例年好評のチャリティーパーティー
の開催、フォトジャーナリスト安田菜津紀さんの写
真展、イベント「『3.11』と『エイズ孤児』が交わる
ところ。」、チャリティオークション、Facebook上でのいい
ね！募金など、さまざまな企画を行いました。



Party

世界エイズ孤児デー チャリティーパーティー

5月27日に、表参道「LA COLLEZIONE」にてチャリティー
パーティーを開催しました。支援者や協力企業の方、
ボランティアなど総勢132名が集まりました。夏らしい日
差しが窓から注ぎ込む会場で、参加者やスタッフ同士
が和やかに、ドリンクやケーキを片手に、思い思いの
楽しい時間を過ごしました。小さなお子様を連れてきて
下さった方、ご家族や会社の同僚を誘ってきた方など、
さまざまな方がご来場くださいました。活動報告コー
ナーでは、代表門田や副代表大島、事務局長小島か
らのプラスの活動紹介を行いました！



Photo Exhibition



安田菜津紀さん写真展

「Ekilooto of Uganda～HIVと共に生まれる」

4月28日～5月13日まで、BODY WILD Under wave原
宿本店にて写真展を開催。2010年、プラスが活動す
るウガンダの事業地取材で訪れた安田さん。写真
からは、HIV/エイズによって親を失い、地域で差別に
遭うなど子どもたちの過酷な現状と共に、家族を愛し、
将来への夢を失わない子どもたちの姿が映し出され
ていました。

Event



スペシャルトークイベント

「『3.11』と『エイズ孤児』が交わるところ。」

5月6日に「『3.11』と『エイズ孤児』が交わるところ。」を開
催しました。ゴールデン・ウィークの最終日にもかかわらず74名の方にご来場頂き、会場は満席！ゲストにフォト
ジャーナリストの安田菜津紀さんとダイアログ・イン・ザ・
ダーク理事の志村季世恵さん、司会にラジオDJの武村
貴世子さんをお迎えし、震災復興やエイズ孤児支援の
活動で感じた「コミュニティ」や「人とのつながり」、「対話
の大切さ」についてお話を頂きました。

世界エイズデー キャンペーン2012

12月1日の世界エイズデーに合わせた啓発
キャンペーン

キャンペーン概要

エイズ孤児について知らせるブックレット「エイズ孤児
って知っていますか？」を作成、様々な場所で1万
部を配布しました。また、プラスの魅力やエイズ孤児
の現状をお伝えするチャリティーパーティーの開催、
プラスFacebookページでの「いいね！募金」、著名人
のご協力のもとチャリティオークションの実施などを
行いました。



Booklet



無料ブックレット

エイズ孤児って知っていますか？

ブックレット『エイズ孤児って知っていますか？』を発行。11月中旬よりイデアインター
ナショナル直営店、THE BODY SHOPなどさま
ざまな場所で配布しました。

Auction

11月12日～12月10日までチャ
リティーオークションを実施し、
多くの著名人の方々にご協力
いただきました。私物やサイン
入りTシャツ、サイン色紙等
をご提供いただき、1,114,310円
の寄付が集まりました。

Event

11月25日(日)、チャリティーパ
ーティを開催しました！情熱的なア
フリカンダンスから始まり、プラス
の活動報告を行うミニトークセッ
ション、素敵な商品が当たるクイ
ズラリーなど様々な催しを行い、
盛り上がりました。

助成金・ 企業寄付 実績

- ・独立行政法人国際協力機構草の根無償資金協力事業
- ・日興アセットマネジメント株式会社様「日興AM従業員チャリティプログラム」
- ・ゲンゼ株式会社様「ゲンゼラブアース倶楽部」
- ・キューピー株式会社 マatchingギフト制度「QPeace」
- ・スタンダードチャータード銀行協賛
- ・株式会社イオンフォレスト「ザ・ボディ・ショップエイズキャンペーン」
- ・富士ゼロックス株式会社「富士ゼロックス端数倶楽部」
- ・久光製薬「久光ほっとハート倶楽部」他

主なメデ ィア掲載

○ラジオ

・J-WAVE 81.3FM「JK RADIO TOKYO UNITED」にプラスの代表理事門田が出演しました。

○書籍/雑誌

・オルタナ 28号 03/31発行「CSR(企業の社会的責任)をビジネスで具現化した日米欧81人」に、当会代表の門田が選出されました。

・iPhoneアプリ「チャリティクロック」がソトコトで紹介されました

○ネットメディア

・Yahoo!JAPANニュース等にてプラスの世界エイズ孤児デーキャンペーンが紹介されました。

科目	金額
I 経常収益	
1 受取会費	
正会員会費	72,000
賛助会員会費	0
2 寄附金	
一般寄付	5,804,203
マンスリーサポーター寄付	1,213,000
3 助成金等	
補助金	8,513,187
助成金	799,290
4 事業収益	
(1)エイズ孤児に関する総合的支援事業	0
(2)エイズ孤児に関する普及啓発事業	1,727,700
5 その他収益	
利息	690
経常収益計	18,130,070
II 経常費用	
1 事業費	
(1) 人件費	
給料手当	5,992,379
人件費計	5,992,379
(2) その他経費	
海外プロジェクト費	3,596,155
国内活動諸経費	977,403
旅費交通費	886,133
通信運搬費	68,920
広告宣伝費	65,873
消耗品費	105,102
保険料	276,160
手数料	62,617
雑費	334
その他経費計	6,038,697
事業費計	12,031,076
2 管理費	
(1) 人件費	
役員報酬	0
給料手当	1,206,461
人件費計	1,206,461
(2) その他経費	
旅費交通費	114,180
通信運搬費	176,221
研修費	20,000
会議費	14,247
消耗品費	47,106
地代家賃	240,000
水道光熱費	48,000
手数料	159,799
法定福利費	143,730
雑費	25,000
その他経費計	988,283
管理費計	2,194,744
経常費用計	14,225,820
当期経常増減額	3,904,250
III 経常外収益	
経常外収益計	0
IV 経常外費用	
経常外費用計	0
前期繰越収支差額	4,925,520
次期繰越正味財産額	8,829,770

特定非営利活動法人

エイズ孤児支援NGO・PLAS

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-14-58クリエイト目黒2A

TEL/FAX 050-3627-0271 info@plas-aids.org

www.plas-aids.org/